

(案)

第31回 2024年度 瀬戸内海研究フォーラム in 大阪

大阪湾から考える 瀬戸内海の将来像



開催日程	2024年8月28日(水)~29日(木)
開催場所	高槻城公園芸術文化劇場 北館 中ホール ■ポスター掲示会場:北館2階 第1・第2展示室 ■懇親会(8月28日(水)18:30~20:00):北館3階 会議室
参加費	【フォーラム:無料】【懇親会:一般 5,000円、学生 2,000円】

事前申込制

趣旨

大阪湾は、瀬戸内海の中で最も流域面積が大きい1級河川である淀川が湾奥部に流入し、流域人口や流入負荷量は湾灘の中で最も多い。また、人工護岸や人工島が多く、自然海岸や藻場・干潟面積は最も少ないという特徴があります。このため、水質・水交換の観点からみると、瀬戸内海の中で最もCOD・窒素・リン濃度が高く、汚濁している強閉鎖性の海域となっています。加えて、大阪湾では2022年12月に底層溶存酸素量に係る水質環境基準の水域類型の指定がなされ、底層溶存酸素量の改善が新たな問題となっています。

今回の研究フォーラム in 大阪では、“きれいで、豊かで、賑わいのある大阪湾”を実現するためには何が 필요한のか、そして私たちは何をすべきなのか、という問題意識とあわせて、今や避けることができない“地球温暖化問題”が、大阪湾の将来にどのように関わっているかの観点を含めて、さまざまな立場からの講演をしていただき、大阪湾をはじめとした瀬戸内海の将来像について議論をしたいと思っております。

申込方法



下記1)~5)の事項を明記し、いずれかの申込先に送信してください。

- 1)氏名 / ふりがな
- 2)所属名
- 3)参加日[8/28・懇親会・8/29]
- 4)連絡先[メールアドレス]
- 5)所属先またはお住まいの都道府県名

参加申込期限

フォーラム 8月23日(金)

懇親会 8月19日(月)

※送信後、1週間経過しても返信がない場合、web@seto.or.jpへご連絡ください

申込先

E-mail web@seto.or.jp

Google フォーム
[準備中]

問合せ先

(特非) 瀬戸内海研究会議事務局

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館5階(公社) 瀬戸内海環境保全協会内
TEL: 078-241-7720 E-mail: web@seto.or.jp

会場へのアクセス

高槻城公園芸術文化劇場 北館
大阪府高槻市野見町 2-33

阪急高槻市駅から徒歩約8分
(阪急大阪梅田駅から高槻市駅まで特急で約20分)

JR高槻駅から徒歩約13分
(JR新大阪駅からJR高槻駅まで新快速で約10分)
(JR京都駅からJR高槻駅まで新快速で約12分)



主催: (特非)瀬戸内海研究会議 共催(予定): 瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海水環境研究会議
協賛(予定): (公社)瀬戸内海環境保全協会、大阪湾広域臨海環境整備センター
後援(予定): 環境省、大阪府、高槻市、大阪大学、大阪公立大学、(公社)日本水環境学会関西支部

プログラム 第31回 2024年度 瀬戸内海研究フォーラム

(案)

8月28日(水) 開場 12時00分

8月29日(木) 開場 9時30分

開会式	13:00~13:20
基調講演	13:25~13:50
「演題 調整中」 調整中(環境省水・大気局海洋環境課海域環境管理室)	

セッション1 13:55~15:45	
大阪湾の水質・ごみ問題の現状	
座長	中谷 祐介(大阪大学大学院工学研究科 准教授)
13:55	趣旨説明
14:00	貧栄養化に伴う瀬戸内海のCOD上昇 藤原 建紀(京都大学 名誉教授)
14:25	大阪湾の貧酸素水塊:これまでとこれから 入江 政安(大阪大学大学院 教授)
14:50	大阪府における海洋プラスチックごみ対策について(仮) 橋田 学(大阪府環境保全課 課長)
15:15	大阪湾における海底ごみについて(仮) 大美 博昭(大阪府立環境農林水産総合研究所 GL)
15:40	質疑応答・総合討論

セッション2(ポスターセッション) 15:55~17:45	
瀬戸内海及びその周縁に関する研究・地域活動報告	
座長	森 育子(大阪府立環境農林水産総合研究所 主査)
15:55	趣旨説明
16:00	1人1分によるポスター概要発表 [中ホール]
16:45	ポスター前説明 [2階第1・2展示室]

総会(会員のみ)	17:55~18:30 [中ホール]
懇親会	18:40~20:00 [3階会議室]

セッション3 9:30~11:20	
海域特性に応じた漁業と環境改善の取り組み	
座長	中嶋 昌紀(大阪府立環境農林水産総合研究所 理事)
9:30	趣旨説明
9:35	大阪湾の水産資源の動向と新たな漁業の取り組み 安岡 法子(大阪府立環境農林水産総合研究所 研究員) 秋山 諭(大阪府立環境農林水産総合研究所 主任研究員)
10:00	大阪湾最奥部に位置する淀川河口の漁業とブランド化の取り組み 畑中 啓吾(大阪市漁業協同組合 総務次長兼販売事業統括)
10:25	人工島における藻場造成と周辺海域への展開(仮) 大谷 優里(仮)(関西エアポート(株)ニアフタクトマネージャー)
10:50	大阪湾生き物一斉調査17年間からみた海岸生物相の変化とその保全 鍋島 靖信(大阪市立自然史博物館 外来研究員)
11:15	質疑応答・総合討論

セッション4 12:30~14:10	
環境と漁業・食文化が調和した賑わいのある大阪湾	
座長	矢吹 芳教(大阪府立環境農林水産総合研究所 主幹研究員)
12:30	趣旨説明
12:35	「近くて遠い大阪湾」から「親しみのある大阪湾」へ(仮) 黒田 桂菜(大阪公立大学大学院 准教授)
13:00	南泉州地域を中心とした水環境保全・創造に関する取り組み(仮) 岩井 克巳(株式会社漁師鮮度 代表取締役)
13:25	豊かな大阪湾をめざして ~大阪湾における令和の里海づくり~ 和田 峻輔(大阪府環境保全課 総括主査)
13:50	質疑応答・総合討論

セッション5 14:20~16:10	
気候変動と沿岸生態系	
気候変動と大阪湾・瀬戸内海 ー生態系が受ける影響と与える影響ー	
座長	相馬 明郎(大阪公立大学大学院工学研究科 教授)
14:20	趣旨説明
14:25	気候変動と栄養塩類管理が瀬戸内海に与える影響ー陸域・海域統合の視点からー(仮) 東 博紀(国立環境研究所 主幹研究員)
14:45	プランクトンから見た瀬戸内海の変遷と現状(仮) 西川 哲也(兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター 上席研究員)
15:05	物質循環を駆動する河口干潟の炭素固定機能の動態ー淀川河口を例としてー(仮) 大谷 壮介(大阪公立大学工業高等専門学校 准教授)
15:25	堆積物-水-大気の結合生態系からみた“豊かな海再生機能”と“ブルーカーボン機能”の現状と将来(仮) 相馬 明郎(大阪公立大学大学院 教授)
15:45	質疑応答・総合討論

表彰式・閉会式	16:20~16:50
---------	-------------

ポスター展示 北館2階第1・2展示室

8/28(水)12:30 から8/29(木)14:30 まで

|ポスター前発表スケジュール|

8/28(水) 16:45~17:15 奇数番号ポスター

17:15~17:45 偶数番号ポスター

8/29(木) 11:20~12:30 自由発表

